

第32回 ICNJ東海北陸支部 総会・定例会 報告

2024年11月2日(土)第32回日本感染管理ネットワーク東海北陸支部総会と定例会を開催し、52名(会員46名・非会員5名・学生1名)の方にご参加いただきました。

総会は、皆様のご協力のもと、滞りなく議事進行し、すべての議案が可決されました。

定例会は、「能登半島地震 その時何がおこっていたのか」をテーマに3名の先生方にご発表いただきました。

●「発災から2週間 変わらない災害現場」

桑名市総合医療センター 災害派遣医療チーム 岩谷美佳先生

●「R6年能登半島地震で私が体験したこと」

公立宇出津総合病院 感染管理認定看護師 原田理香先生

●「さいはての地からメッセージ！ -つなげていこう災害看護-」

石川県立中央病院 災害看護専門看護師 登谷美知子先生



東海北陸支部だからこそできること、被災された会員の方や避難所支援に行かれた方の飾らない「生の声」を聴きたいと、この企画を検討しました。発表後は活発なディスカッションができました。感染管理という枠を超え、身近に起こる災害について、改めて考え、再認識するとともに、自身がまた自施設で活かせる災害対策の一助となったのではないのでしょうか。



企業展示にもたくさんの方が足を運んでいました。新しい情報や商品に出会えましたか？

皆様のご協力、ご支援により、今年度の総会・定例会を終えることができました。心より感謝申し上げます。

ICNJ東海北陸支部 役員一同

